

がん検診は受けましたか？

問い合わせ 健康センター ☎ 23-2191

がん検診の受診はお早めに！

乳がん・子宮頸がん検診

8月上旬に送付したクーポン券をお持ちの方や、8月に申し込みをまだ検診を受けていない方は、早めに検診を受けてください。実施期間終了間際の2月、3月は大変混み合います。

大腸がん検診

40歳以上の市民を対象に12月8日(土)まで市内医療機関で実施しています。この機会にぜひ受診しましょう。実施医療機関は市ホームページをご覧ください。

精密検査を受けましょう～市のがん検診を受診した方～

がん検診の検査結果が「要精密検査」のとき、皆さんは精密検査を受けていますか。

「要精密検査」＝「がん」ではなく、「がんの疑いを含め異常(病気)が疑われる」と判断されたということです。

そのため、原因についてより詳しい検査を行い、本当に異常があるかどうかを調べる必要があります。どのような医療機関で精密検査を受けたいかは、検診を受けた医療機関やかかりつけ医等にご相談ください。

ご自分やご家族のため、早めに医療機関を受診して検査を受けましょう。

乳がん・子宮頸がん検診第2回募集

●乳がん検診

検診機関 健康センター敷地内・検診車▷新町クリニック健康管理センター▷あきる台病院健診センター▷日の出ヶ丘病院健診センター

対象 市内在住の女性で、平成31年4月1日までに40歳以上で、29年度の市の乳がん検診を受診していない方

検診内容 マンモグラフィ検査、問診、視触診

※国の指針により、40歳代の方は2方向、50歳以上の方は1方向から撮影します。

費用 1,000円

●子宮頸がん検診

検診機関 下奥多摩医院▷林レディースクリニック▷新町クリニック健康管理センター▷総合病院

対象 市内在住の女性で、31年4月1日までに20歳以上で、29年度に市の子宮頸がん検診を受診していない方

検診内容 問診、視診、内診、細胞診 費用 500円

●いずれも

実施期間 31年3月31日まで

受診方法 受診票は12月上旬～中旬に順次送付します。受診票が届いてから上記検診機関へ予約し、受診してください。

その他 右表に該当する方は受診できません▷費用は受診日に検診機関でお支払いください▷生活保護受給者等には、免除制度がありますので、受診日に受給証明書を持参してください。

表 がん検診を受けられない方

乳がん	▶乳がんを治療中または経過観察中の方 ▶妊娠中または妊娠の可能性のある方 ▶授乳中の方▶豊胸手術をした方▶ペースメーカーを使用している方▶30年度乳がん検診無料クーポン券対象の方
子宮頸がん	▶子宮の治療中または経過観察中の方▶30年度子宮頸がん検診無料クーポン券対象の方

申込方法

①郵送	<p>ハガキの書き方 ①「乳がん検診希望」、「子宮頸がん検診希望」、「乳がん・子宮頸がん検診希望」のいずれかを記入してください。</p> <p>②記入漏れがあると、受診券の作成、送付ができませんので、必ず記入してください。</p> <p>送付先 〒198-0042 青梅市東青梅1-174-1 健康センター婦人がん検診担当へ</p>
②直接	健康センターにある検診申込書に記入して提出(土・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時)
③電子申請	<p>市ホームページ内の「電子申請」から「東京電子自治体共同運営サービス」へ進み手続きをしてください。</p> <p>※スマートフォンから二次元コードを読み取るか、http://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/へ直接アクセス可</p> <p>乳がん検診二次元コード https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/uketsuke/form.do?id=1538613690838</p> <p>子宮頸がん検診二次元コード https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/uketsuke/form.do?id=1538614453286</p>
申込期限	①②11月15日(必着) ③11月15日午後23時59分まで

青梅市医師会健康コラム46

在宅医療を受けたいけれど

ホームケアクリニック青梅院長 土田直輝

どのような方が在宅医療の対象となるのでしょうか。末期のがん患者さんや寝たきりで重症の方のみが対象となっているわけではありません。

保険診療上の定義では、「在宅で療養を行っている患者であって、疾病、傷病のために通院による療養が困難な者」が対象となっています。

「少なくとも独歩で家族介助者等の助けを借りずに通院ができる者」と通知されています。

具体例を挙げると、「持病を抱えているが、脳卒中後で麻痺があったり高齢で筋力が低下し一人で移動できる範囲が制限されており、家族が病院に連れて行くのも難しい

方」、「老衰で最後の時を迎えるのに、自宅を希望する方」、「持病があるが認知症のため、病院に行くのに強い抵抗を示す方」、「悪性腫瘍で積極的な治療の適応とならず、自宅で過ごすことを希望する方」、「胃腸や力テールが留置されていたり、自宅でも点滴やたんの吸引など医療的な管理を必要とする方」といったさまざまな方が対象となっています。

ただし、詳しい検査が行えないこともあり急病時の1回限りの往診は通常行っていません。

ご自身またはご家族が在宅医療の適応となるかお悩みの場合は、かかりつけ医や担当ケアマネージャーにご相談ください。また、在宅医療に関する相談については、市高齢介護課、障がい者福祉課へご連絡ください。

問い合わせ 健康センター ☎ 23-2191

風しんの流行にご注意を

関東地方では例年と比較して、風しんの抗体価の低い30～50歳代の男性を中心に、風しんが流行しています。

風しんは、風しんウイルスの感染によって、発熱や発疹、リンパ節の腫れ等が生じる病気です。主な感染経路は、感染者のくしゃみや咳などの飛まつ感染です。

また、風しんにかかってもほとんどの人は軽症で済みますが、妊娠中の女性(特に風しんに対する抗体価の低い妊娠20週頃までの妊婦)が感染すると、生まれてくる赤ちゃんに、先天性風しん症候群という障害を発症するおそれがあります。

風しんウイルスの感染力は、インフルエンザより強いと言われています。

また、風しんの特効薬がないため、予防接種を受けることが重要な予防方法となっています。

飛まつ感染予防のため、外出時のマスクの着用や外出後の手洗い、うがいを中心に行うことも、風しんに今までもかかったことがない、または予防接種歴が1回もない方は風しんワクチンの接種を検討しましょう。

現在、市では、妊娠を予定・希望している19歳以上の女性に対して、風しんの抗体検査と予防接種費用の助成を行っています。

詳細は健康センターへお問い合わせください。

お問い合わせ 健康センター ☎ 23-2191

総合健康診査(人間ドック)は平成31年3月31日で終了します

健康センターでは、昭和60年度から総合健康診査(人間ドック)を実施してきましたが、施設および検査機器の老朽化により、平成31年3月31日をもって終了します。

ご利用いただいている皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。

なお、今後の対応については、広報おうめ等でお知らせします。

問い合わせ 健康センター ☎ 23-2191

自立センター福祉公開講座 折り紙教室

日時 11月21日(水) 午後1時30分～3時30分

講師 加藤和子氏

費用無料

申し込み 平日の午前8時30分～午後5時15分に電話 ☎ 32-1631で自立センターへ

※留守番電話への申し込み不可

問い合わせ 自立センター、市障がい者福祉課